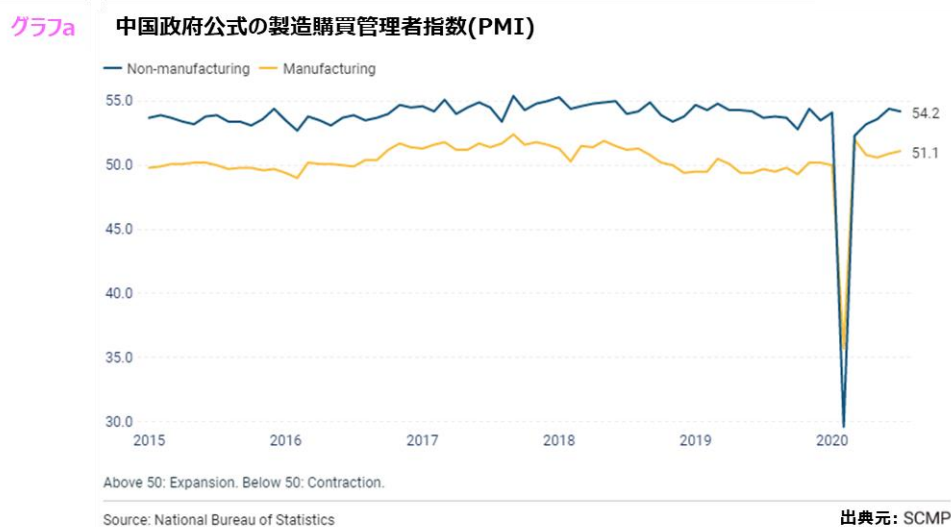


インバウンドコラム

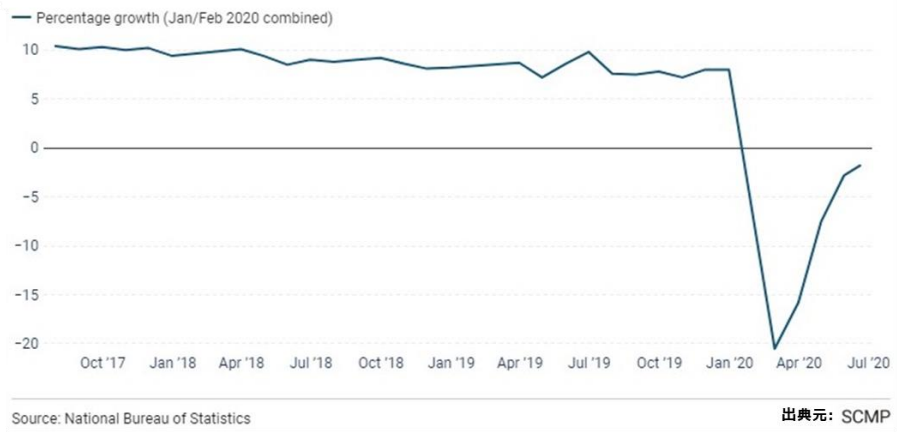
世界第2位の中国経済の今

South China Morning Post による中国経済分析

1903年創業の老舗、香港英字新聞 South China Morning Post(SCMP)が、今年3月から中国経済を定点観測しレポートしています。中国政府の発表データのため、透明性には欠けますが、一定の指標として参照ください。中国の国内総生産(GDP)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でマイナス6.8%と歴史的な落ち込みを記録した2020年第1四半期から、第2四半期は、3.2%まで回復しました。1989年~2019年までの30年間、平均9.4%の成長率でした。2019年にはいり、対米貿易戦争の影響で成長率は6.1%と鈍化していたところ、新型コロナウイルス禍でした。中国政府公式の製造購買管理者指数(PMI)は、国有企業の多い大企業の労働者、購買責任者、物流責任者らへの調査をもとに、生産量や新規注文数、雇用状況、納期などの変化を測定しています。7月の時点でPMIは51.1と拡大傾向か縮小傾向かの分岐点である50を超えていて、都市封鎖から、製造業が回復してきていることを示しています。(参照※1、グラフa)世界最大の市場である中国の小売の6月売上高は、昨年比1.8%の減少幅にとどまりました。中国政府が輸出主導型経済から国内消費へ依存する経済へ転換を試みているなか、内需拡大は今後ますます重要になってきます。(参照※1、グラフb)



グラフ 中国 小売 月間売上



※1 中国経済 | South China Morning Post

<https://www.scmp.com/economy/china-economy/article/3084199/china-economy-latest-data-about-worlds-second-largest-economy>